

数学

大阪大学 [文系] (前期)

<全体分析>

試験時間	90 分	解答問題数	3 題
------	------	-------	-----

解答形式

記述式

分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・変化なし・やや増加・増加)

難易 (易化・やや易化・変化なし・やや難化・難化)

出題の特徴や昨年との変更点

特になし。

その他トピックス

1は理系との共通問題。

2は漸化式をそのまま利用するタイプの問題であり、文系としては珍しい。

<大問分析>

問題番号	出題分野・テーマ	範囲	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
1	平面ベクトル	数学C	ベクトルの内積・垂直条件	標準
2	数列	数学B	漸化式で定義される数列についての証明問題	難
3	微分法・積分法	数学II	面積で定義される関数の最大値	やや易

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

まずは標準的な問題を中心に、余裕が出てきたら少し難度の高い問題も含め、広範囲に訓練を積みたい。近年は論述力も要求されるようになってきているので意識しておこう。